



審判副委員長



戦評用紙

種別 **バレーボール (聴覚)** 会場 **大野市エキサイト広場総合体育施設体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **13** 日 土曜日 第 **1** 日目

B コート 第 **3** 試合

1回戦(第3試合) 準決勝(第 試合) 3位決定戦 決勝戦 交流戦(第 試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム	25	—	10	}	0	福島県	都道府県、指定都市名
東京都	25	—	2				
都道府県、指定都市名		—					

【審判員】

主 審： 中山 幹雄 副 審： 猪野 翔太
 記録員： 岡田 真由美 A・S： 広瀬 可奈 A・S： 齊藤 美鈴

【戦 評】

記載者： 石川 靖悟

東京都と福島県の一回戦。多彩な攻撃で高い攻撃力の東京都とミスを恐れず攻めの姿勢を貫く福島県の対戦となった。

第1セット、東京都は序盤から、松永、林選手のスパイク、大塚選手のサービスエース等の多彩な攻撃で大量リードを奪う。中盤、福島県も小泉選手のサーブから連続得点を取り粘りを見せる。しかし、東京都は持ち前の高い攻撃力で、着実に得点を重ねこのセットを取った。

第2セット、東京都は第1セットの勢いそのままに、高い攻撃力を見せる。佐藤、大塚選手のサーブからの攻撃で得点を奪う。対する福島県も、ミスを恐れない思い切った攻撃で反撃を試みるが、東京都の勢いは止めきれない。最後は大塚選手のサーブで大量得点を取った東京都が、準決勝進出を決めた。